

奈良県の地域特性と民俗文化

～「西大和」を中心として～

奈良民俗文化研究所 代表 鹿谷 勲 氏

4月第2例会は、18日、講師に奈良民俗文化研究所 代表の鹿谷 勲氏をお招きし、奈良県で受け継がれている伝統行事や神事祭礼を、写真と共に詳しくご説明頂いた。県教育委員会文化財保存課専門技術員、県立民俗博物館学芸課長を経て、奈良県の民俗文化を長年研究されている鹿谷先生のご講演はとても興味深く、参加者は熱心に耳を傾けていた。

【大和の地域区分と県民性】



奈良県は、47市町村あったが、平成の合併で39市町村になった。奈良県は、歴史的には、国中(くんなか)、東山中(田原・都祁方面)、西山中(富雄・生駒方面)、奥(宇陀)、南山(吉野)に分かれていた。

「県民性 文化人類学的考察」(1971祖父江孝男)には、「奈良県の排他性は京都よりずっと弱い。歴史にヌクヌクとしていたためか消極的で個人主義的な傾向が強く、県人同士の結びつきが弱い」とあるが、皆さんはどう思われますか？

【奈良民俗紀行 西大和編】

馬見丘陵の地域は、昭和40年代の自動車道の整備と西大和ニュータウンの大規模開発により、新旧住民が接しながら暮らす土地となった。この地域の歴史や文化を取材し、ミニコミ誌に連載したものをまとめて著書にした。西大和の民俗文化を考えるキーワードとして10のテーマを設定した。①「あらたまる」②「なう」③「つどう・いとなむ」④「いのる・ねがう」⑤「まう・きよめる」⑥「とむらう」⑦「まいる・そなえる」⑧「はぐくむ」⑨「ひびく」⑩「人・モノ・妖怪」。

例として、「あらたまる」=大和漫才(正月に太夫(息子)と才蔵(父親)がめでたい言葉で漫才し、めでたい物事を引き寄せる。「なう」=藁の文化について寺などで大きな綱などを力を合わせて綱う。人々が集まり、掛け声をかけ楽しみながらの共同作業。「矢田大宮の綱掛け」「東明寺の綱掛け」「天神講の注連縄」など。

【民俗文化財】

<文化財の定義>「我が国民の生活の推移の理解のために欠くことのできないもの」

<文化財6種>①有形文化財②無形文化財③民俗文化財④記念物⑤伝統的建造物群⑥文化的景観

<民俗文化財>

① 「衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗習慣、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋、その他の物件で我が国民の生活の推移の理解のために欠くことのできないもの」(保護法第2条の5)有形民俗文化財と無形民俗文化財。

② 世代を超えて受け継がれる文化。基層文化、民間伝承、民俗文化。

表層文化(個性的・創造的・時代性を強く伴ったもの)も一時的な流行であれば風俗、継承されたら伝承文化。伝承文化はその民族の心性と結びついた文化。

<民俗学の対象分類>

① 柳田国男による分類=有形文化・言語芸術

② 折口信夫による分類=周期伝承・階級伝承・造形伝承・行動伝承・言語伝承

③ 和歌森太郎による分類=経済人的生活伝承・社会人的生活伝承・文化人的生活伝承

【民俗学の方法 (1)】

<柳田国男の方法>(「郷土研究ということ」「青年と学問」岩波文庫)

①研究の区域はできるだけ小さく区画する。②自分の家の門の前、垣根のへりから初めて、次第に外へ出て行く。③つねに力を自身直接の観察に置くこと④最も精確かつ忠実なる記録を遺すこと。⑤いかなる小さい、俗につまらぬということでも馬鹿にせず。⑥必要があればその比較を国の外、世界の果てまでも及ぼすこと。⑦無形の記録を保管している人々に対して、つねに教えを受ける者の態度を失わずまさに文字通りの同情をもってこれに臨むこと。

<宮本常一の方法>(「民俗事象の捉え方・調べ方」河出書房)

①小さいことに目を向ける。②村を全望する。③村の中をよく見る。④カメラを利用する。⑤多く

の古老に会うこと。⑥一度行った所へ二度行く。⑦「事実」と「解釈」を区別する。⑧ギブ・アンド・テイク ⑨テーマは大きく。⑩一カ所をほりさげる。

【民俗学の方法 (2)】

①歩く・見る・聞く(第1段階 現地調査) ②書く・集める・比べる(第2段階 記録・集積・比較)

③考える・生かす(第3段階 研究・応用)

【民俗学の方法 (3)】

<自分流の探訪ノートを作り、整理し、活用する>

「ノートをつけると、旅と散歩はもっと楽しくなる。足で歩いて、手で記録する。大切なのは、自分の力で発見すること。日本を外国人観光客のように歩こう。」(奥野宣之「歩くのがもっと楽しくなる旅ノート散歩ノートのつくりかた」2013)

【なみんけん】

一人でたちあげた「奈民研」も、現在は7人で活動している。コロナ禍で休止していたが、今後も、奈良県内各地で行事、神事、祭行など、地域の方達によって守られている民俗文化を情報化し、新旧住民の交流や将来のあり方を検討するためにも、提供し続けたいと思っている。

奈良民俗文化研究所 ホームページ
【なみんけん】で検索

